

数学序論演習に対する追加説明#3

形式

- 番号は次の様を書くこと。
 - 1年生は出席番号を書くこと。
学籍番号の下5桁から下2桁部分を抜き出し先頭部分に何個かの0があればそれを削除したもの。例えば学籍番号が141080005xであれば5, 141080038xであれば38, 141080157xであれば157, 141088088xであれば8088となる。
 - 2年生以上は10桁の学籍番号を書くこと。
- 用紙を置く場所を間違えないこと。
- 番号が正しく書かれていないものは点数を半分にしています。今後未提出とみなし0点とします。
- 時間外提出を認めているのは「追加」のみです。演習提出は必ず演習時間内に提出すること。

内容

- 演習問題の証明で次の表を利用していた人が若干いた。この表は説明のための表であり、 X が無限集合の場合は証明に使うことはできない。有限集合の場合は使用可能であるが、 x_1, x_2, \dots の部分はすべての元を並べる必要があり、あまり効率がよいとはいえない。

x	x_1	x_2	x_3	\dots	x_n	\dots	$\forall x \in X P(x)$
$P(x)$	T	T	T	\dots	T	\dots	T
$P(x)$	T	T	F	\dots	T	\dots	F